

B-e-8 地域・社会との対話 2011年の取り組み

舞鶴高等専門学校生向けに、社員が講義を実施

(独)国立高等専門学校機構が実施している「企業技術者等活用プログラム」内の「エンジニアリング・デザイン演習」において、学生向けに企業の実践的教育をするため、同校出身の社員を含め、(株)堀場製作所の社員が講師として協力しました。

10月20日から12月6日にかけて全8回の授業で、HORIBAの製品開発から出荷までの流れについて講義しました。学生が明確な技術者像を描いて社会に出て行くことにつながればと思います。



犯罪被害者支援に協力「夢の貯金箱」

HORIBA グループの福利厚生会社(株)ホリバコミュニティが、(株)堀場製作所内に設置している飲料自動販売機1台を「夢の貯金箱」自動販売機に変更しました。

この販売機の飲み物代1杯あたり10円がベンダー会社から日本財団に振り込まれ、NPO法人 全国被害者支援ネットワークの犯罪被害者支援に協力することになります。社員1人ひとりの利用により、その代金の一部が理不尽な犯罪で奪われ、傷つけられた犯罪被害者への寄付金となって継続的に活用されます。



京都市の環境政策に協力

6月から8月にかけて、京都市環境政策局地球温暖化対策室主催の京都市事業者向け環境学習セミナーを受講。参加各企業が事業活動に伴う環境保全活動のノウハウを学び、活発なグループディスカッションを行いました。

また、京都市の環境政策に積極的に協力しているという主旨で、京都市から(株)堀場製作所へ環境担当者育成推進事業所認定証書が授与されました。今後も企業の社会的責任として、環境負荷低減に努めていきます。

